



証券コード 9279

株式会社ギフトHD

2022年10月期 第1四半期 決算説明資料



G I F T



IRサイト

<https://www.gift-group.co.jp/ir/>



2022年10月期 第1四半期 業績概要

成長性・収益性

売上高成長率

18.7%

(年間目標：20.0%)

経常利益率

20.5%

(年間目標：11.8%)

売上高昨年対比

国内直営 全店

132.8%

国内直営 既存店

107.0%

(年間目標：114.4%)

出店数

直営店

6 店舗

(年間目標：36店舗)

プロデュース店

10 店舗

(年間目標：純増48店舗)

人時生産性(直営店)

人時売上高

6,052円

(前年同期：5,679円)

人件費率

26.7%

(前年同期：27.3%)

人材確保・定着

社員採用

中途入社 32名
新卒予定 50名超

退職率

19.0%

(前年同期：18.3%)

トピックス

- ✓ 営業利益率10%超を確保
- ✓ SC内へ初出店
- ✓ 「がっとん」「長岡食堂」の多店舗展開を開始

(単位：百万円)	2021/10期 1Q		2022/10期 1Q		増減
	金額	売上比率	金額	売上比率	前年同期比
売上高	3,362	-	3,990	-	+18.7%
売上原価	959	28.5%	1,169	29.3%	+21.8%
売上総利益	2,402	71.5%	2,821	70.7%	+17.4%
販管費	2,148	63.9%	2,351	58.9%	+9.4%
営業利益	254	7.6%	469	11.8%	+84.8%
経常利益	261	7.8%	816	20.5%	+212.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	169	5.0%	542	13.6%	+220.0%

時短協力金、雇用調整助成金について



当社グループは、自治体からの飲食店等の営業時間短縮要請に応じるとともに、営業時間短縮要請に係る時短協力金および雇用調整助成金の支給申請を行っており、支給決定の時点で収益を認識しております。

当第1四半期連結累計期間に支給が決定した時短協力金は営業外収益に補助金収入として計上しており、申請予定の時短協力金は順次申請を行ってまいります。

(参考) 時短協力金および雇用調整助成金の申請及び支給状況

		1/31まで 当期支給済	2/1以降				総計
			支給決定済	支給未決定	申請予定	合計	
時短協力金	時短日数 (日)	3,569	456	70	674	1,200	4,769
	金額 (千円)	328,371	51,880	注2	注2	注2	注2
雇用調整助成金	金額 (千円)	10,920	-	注2	注2	注2	注2

(注1) 上記の時短日数は、前期末日までに時短した日数（前期末日までに支給が決定した時短協力金にかかる時短日数は除く）及び当第1四半期連結会計期間末までに時短した日数です。

(注2) 時短協力金および雇用調整助成金の金額は支給決定時に確定し支給決定の時点で収益を認識する予定です。

(単位：百万円)	2021年 10月期	2022年 10月期 1Q	増減額
流動資産	2,413	2,366	△47
現金・預金	1,871	1,738	△132
売掛金	262	262	+0
その他	280	365	+85
固定資産	5,863	6,145	+281
有形固定資産	4,016	4,221	+205
無形固定資産	135	135	+0
投資その他資産	1,711	1,787	+76
資産合計	8,277	8,511	+234

(単位：百万円)	2021年 10月期	2022年 10月期 1Q	増減額
流動負債	2,539	2,305	△234
買掛金	389	369	△19
短期借入金	—	138	+138
一年内長期借入金	534	555	+21
その他	1,615	1,241	△374
固定負債	1,621	1,736	+115
長期借入金	1,274	1,367	+92
その他	346	369	+22
負債合計	4,161	4,041	△119
純資産合計	4,116	4,469	+353
資本金	790	790	—
資本剰余金	1,042	1,042	—
利益剰余金	2,281	2,613	+332
自己株式	△0	△0	—
その他包括利益累計	2	24	+21
負債純資産合計	8,277	8,511	+234

店舗の状況（事業別/エリア）



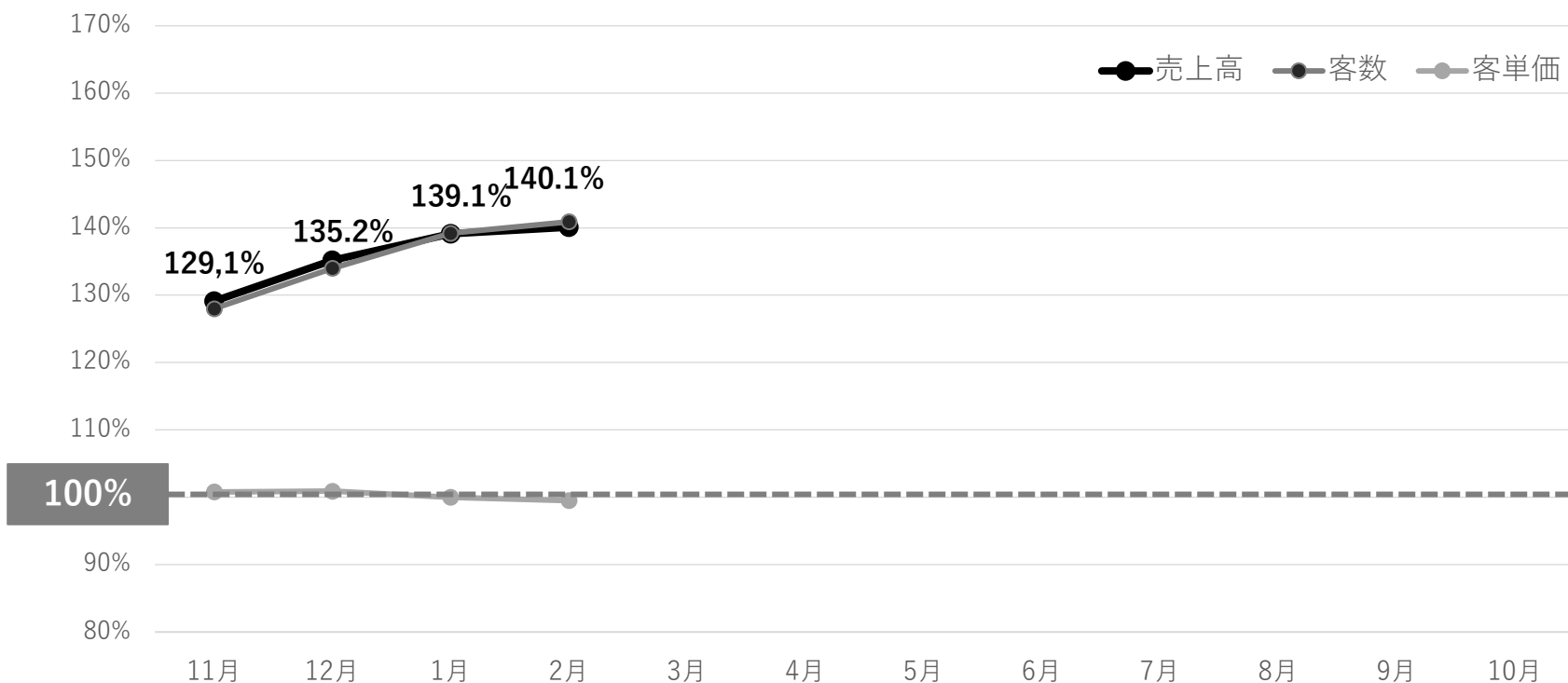
(単位：店)		21/10期末 店舗数	22/10期 1Q 店舗数	増減
直営店 売上高 3,285 百万円	関東	87	91	+4
	東日本（関東以外）	32	34	+2
	西日本	18	18	-
	海外	3	3	-
	小計	140	146	+6
	業務委託店	10	10	-
	合計	150	156	+6
プロデュース店 売上高 704 百万円	関東	293	292	▲1
	東日本（関東以外）	95	101	+6
	西日本	67	71	+4
	海外	13	14	+1
	合計	468	478	+10
店舗数総合計		618	634	+16

店舗の状況（直営店/ブランド別）



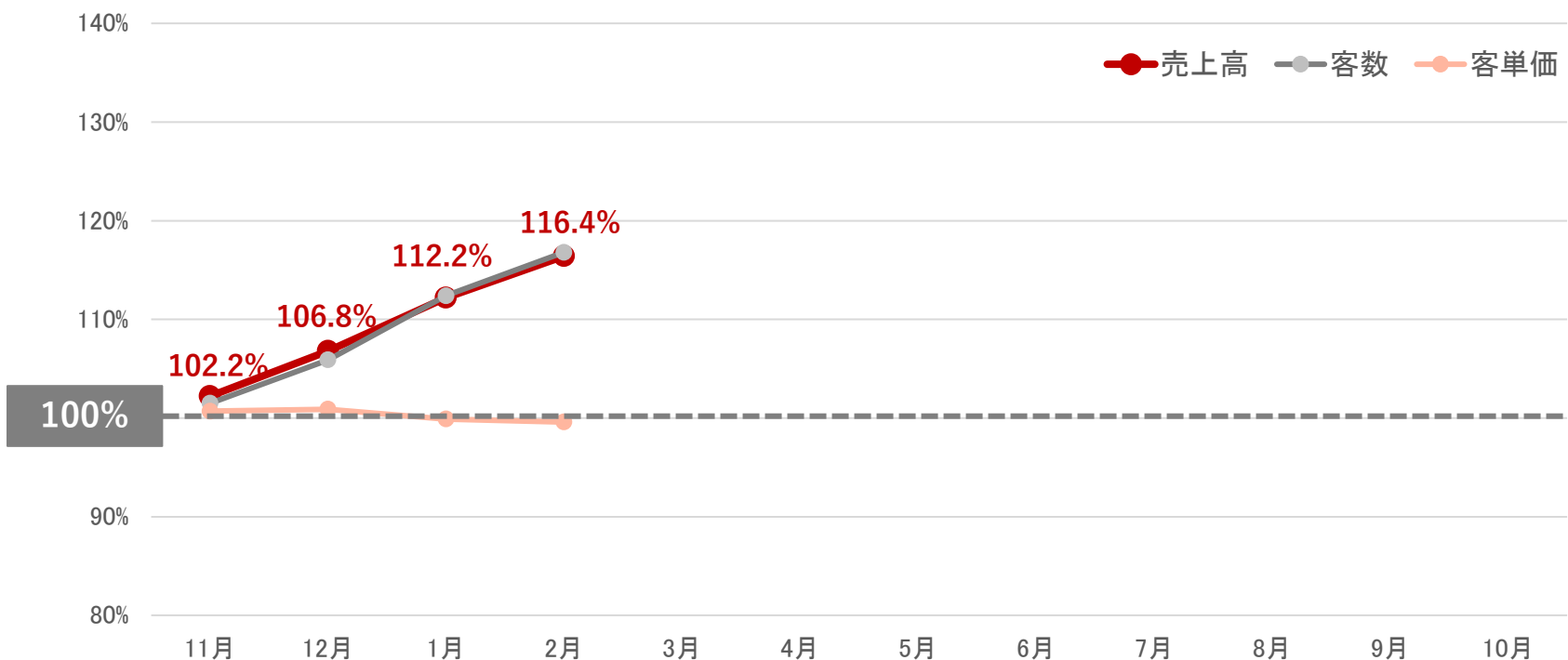
ブランド					
店舗数	111	17	3	1	6
増減 (前期末比)	+3	+1	+1	—	—
ブランド		新業態 		その他	
店舗数	2	2	3	1	
増減 (前期末比)	+1	—	—	—	

国内 直営全店 昨対推移



全店	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
売上高	129.1%	135.2%	139.1%	140.1%									135.7%
客数	128.0%	134.0%	139.2%	140.9%									135.2%
客単価	100.8%	100.9%	100.0%	99.5%									100.4%

国内 直営既存店 昨対推移



既存店	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
売上高	102.2%	106.8%	112.2%	116.4%									109.0%
客数	101.5%	105.9%	112.4%	116.8%									108.7%
客単価	100.7%	100.9%	99.9%	99.6%									100.3%



2022年10月期 業績見通し（修正なし）

2022年10月期 業績見通し（修正なし）



中期経営計画を着実に進め、大幅な増収・増益を計画。

（単位：百万円）

	2021年10月期 実績		2022年10月期 予想		増減率
	金額	売上比率	金額	売上比率	
売上高	13,474	—	17,000	—	+26.2%
営業利益	936	6.9%	1,700	10.0%	+81.6%
経常利益	1,748	13.0%	2,000	11.8%	+14.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,076	8.0%	1,280	7.5%	+18.9%

国内直営店／既存店売上

2021年10月期比 **114.4%**（2019年10月期比 **101.0%**）

出店計画

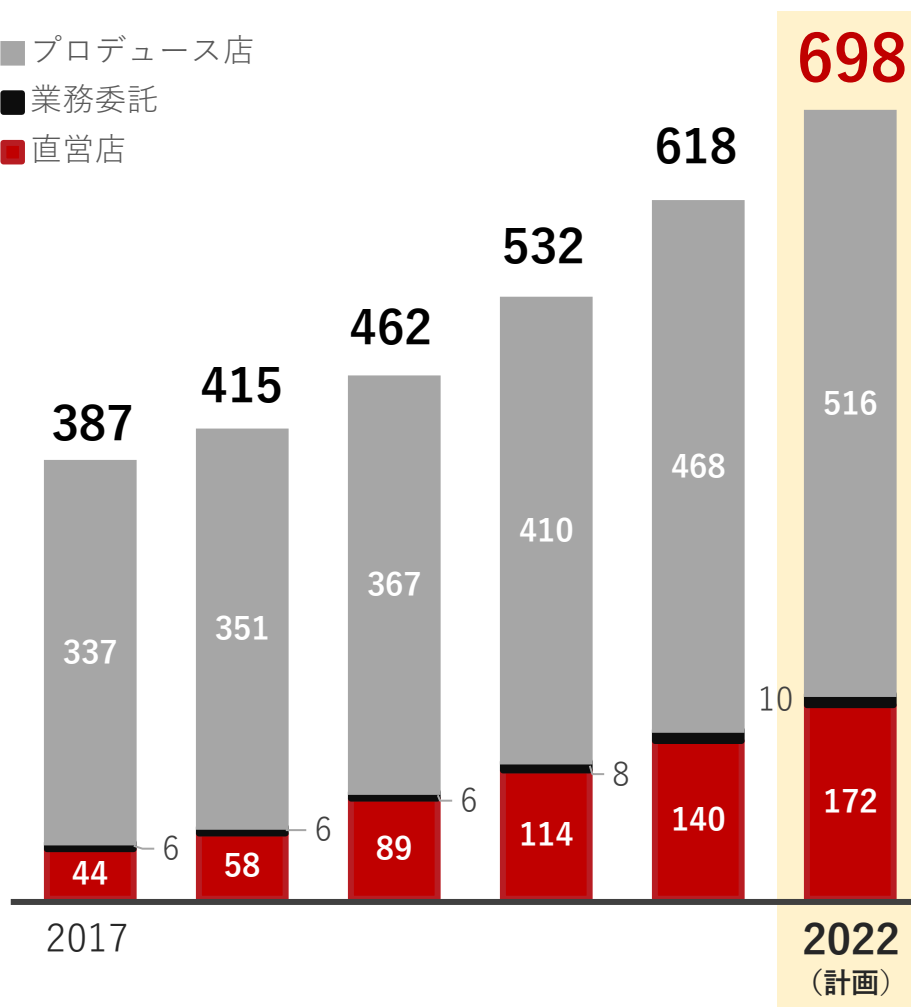
国内直営店 **35店**（純増+**31店**）

海外直営店 **1店**

プロデュース店 **48店**（国内 **45店** 海外 **3店**）

店舗数

- プロデュース店
- 業務委託
- 直営店



2022.10月期末店舗数 (計画)

698 店舗

前期比 **+80店舗** を計画

直営店 **+32** 店舗

プロデュース店 **+48** 店舗

「日常食」としてのラーメンの魅力が多ブランド、エリアを拡大し訴求。

- 「町田商店」はロードサイドを中心に大幅増店。「豚山」も継続出店。
- 「がっとん」「長岡食堂」の多店舗展開も開始

町田商店



首都圏、北関東、東北を中心に、ロードサイド&駅近出店を加速

住宅街
ロードサイド

20 店舗

ビジネス街
繁華街※

5 店舗

※駅ナカ、SC内・フードコート含む

豚山



関東での駅近出店を加速。投資回収の早い居抜物件にて出店

ビジネス街・繁華街

5 店舗

その他



中華そば



長岡食堂

「がっとん」「長岡食堂」の多店舗展開を開始

5 店舗

九州豚骨



中華そば



その他

「元祖油堂」等も、多店舗展開を模索

配当方針

株主の皆様への利益還元は、経営成績、財政状態及び財政状態を総合的に勘案し、財務体質の強化、事業拡大のための投資等にも十分に留意しながら、安定的且つ継続的な利益還元を基本スタンスとして配当性向にも注視しながら実施しております。

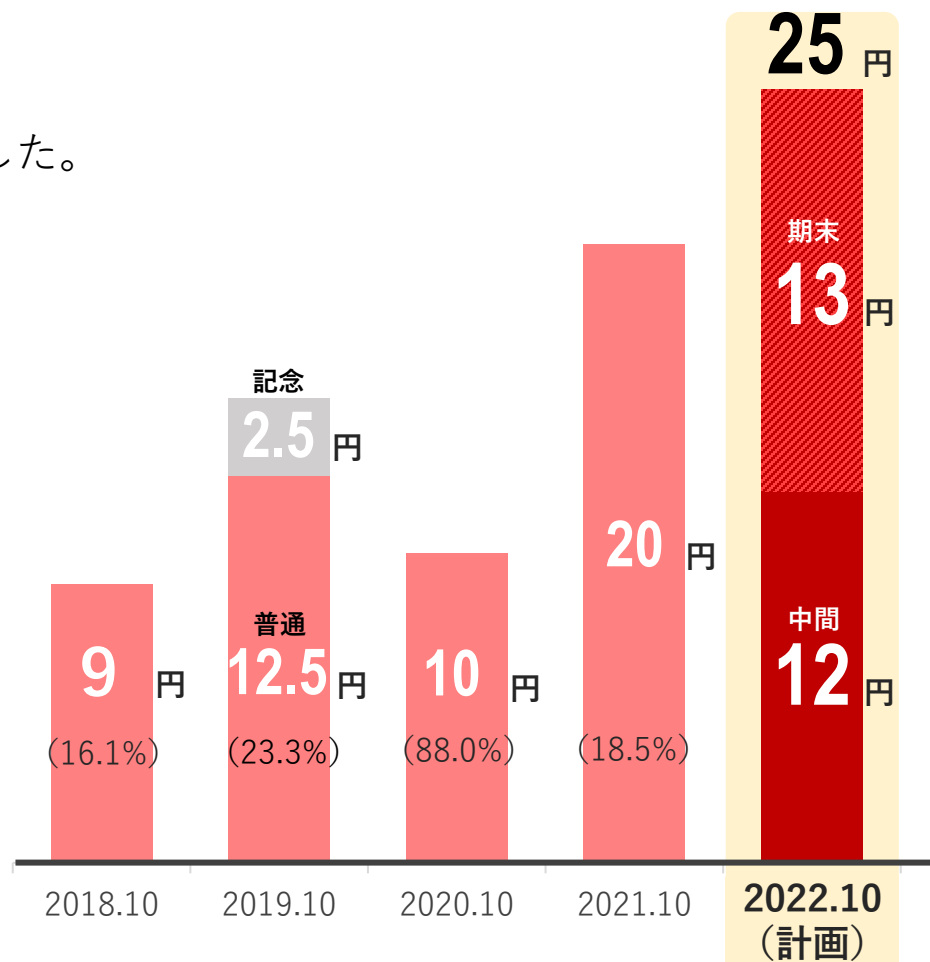
2021年10月期配当金

当初計画より**5円増額の20円**といたしました。

2022年10月期配当金

- ・ 中間配当を開始
- ・ 配当性向20%以上を目標

中間**12円**/期末**13円**の計**25円**とし、**5円増配**を計画しております。



※右の数値は、株式分割を勘案した数値を掲載。

IRサイト

IRサイトでは、株主・投資家の皆様へ向け積極的に情報を発信しております。



<https://www.gift-group.co.jp/ir/>

Investor Questions

Investor Questionsページでは、株主、投資家の皆様からよくいただく質問に対し、IR担当者より回答しております。



<https://www.gift-group.co.jp/ir/communication.html>



参考資料 会社概要

社名 株式会社ギフトホールディングス

事業内容 飲食店の経営

本社所在地 東京都町田市森野1-23-19
小田急町田森野ビル3階

自社工場 製麺：平塚、横浜第一、丹波篠山
チャーシュー：横浜第二

設立 2009年12月7日
(創業 2008年1月)

代表者 代表取締役社長 田川 翔

決算期 10月

資本金 790百万円 (2022年1月末現在)

グループ従業員 社員486名 パート・アルバイト 2,220名
(2021年10月末現在)

関係会社 連結子会社 9社

(重要な連結子会社の名称)
株式会社GIFT JAPAN
株式会社ラーメン天華
株式会社ギフトフードマテリアル
GIFT USA INC.



主カブランド



町田商店

クリーミーなスープが特徴の家系ラーメン。
いくら食べても飽きないおいしさ。



豚山

豚骨ベースの醤油スープに野菜（もやし、キャベツ）、チャーシューをダイナミックに載せるガッツリ系ラーメン。



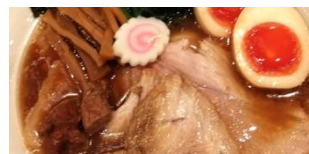
赤みそ家

味噌をベースに炒めた野菜の旨味たっぷりの味噌ラーメン。



がとん

濃厚なスープが特徴の九州豚骨ラーメン。麺の固さを選んで自分好みに。



長岡食堂

新潟県長岡市のご当地ラーメンとして親しまれている淡麗で味わい深い中華そば。



四天王

海外からのビジターにも大人気。あっさりしたコクが特徴のとんこつラーメン。



新業態



元祖油堂

独自開発の専用麺に、うま味醤油使用のまろやかな醤油ダレを合わせ、様々なトッピングで味わえる油そば。



E. A. K. RAMEN

E.A.K. RAMEN

家系ラーメンをベースにローカルニーズに合わせた味でご提供。

海外

直営店とプロデュース店
2つのチャンネル形態にて飲食事業を展開

直営店

156店舗

様々なジャンルのラーメンを
提供する直営店の運営



プロデュース店

478店舗

オーナー様の要望に合わせた
繁盛店づくりのサポート



※PB商品：
プライベートブランド商品
(麺、タレ、スープ、チャーシュー)

駅近＋ロードサイドの両エリアで、繁盛店運営が可能

駅近エリア

「地域名＋商店」
地域密着型店舗展開

秋津商店



三ノ宮商店



代々木商店



綱島商店



荻窪商店



ロードサイドエリア

「町田商店」
一定品質のチェーン型展開

町田商店 姫路店



町田商店 仲町台店



町田商店 清水インター店



町田商店
京都東インター店



町田商店 草加店



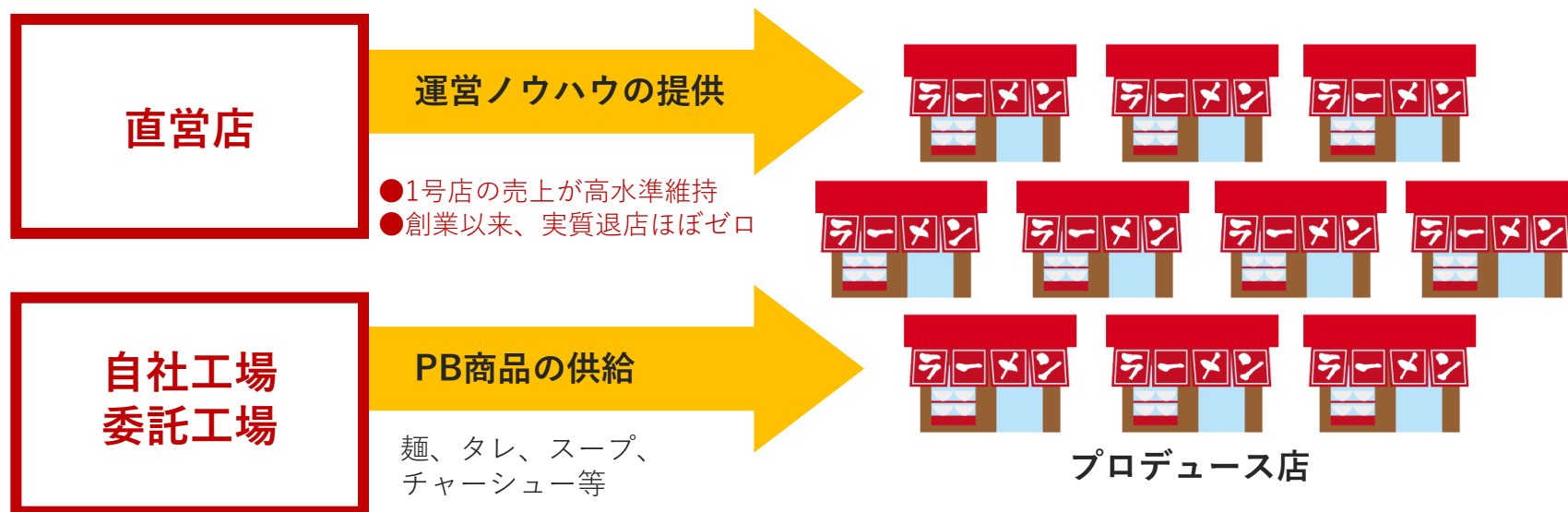
ファミリー層にも評判の「町田商店」

- 駐車場（20台～30台）
- 競合状況、商圈人口、交通量等の分析結果をもとに出店
- 家族が楽しめる店舗づくり
- ファミリー向けメニューの充実化
- 来客単価増加基調を維持
- ロードサイド店は駅近店を上回る繁盛店



<当社独自のチャネル>プロデュース店の運営スキーム

オーナー様の要望に合わせた繁盛店づくりのサポート



※フランチャイズ制度と異なり、保証金、加盟料、経営指導料（ロイヤリティ）不要。直営店の運営ノウハウをもとに、店舗立ち上げ時のプロデュースを、食材の購入を条件に原則無償で提供。

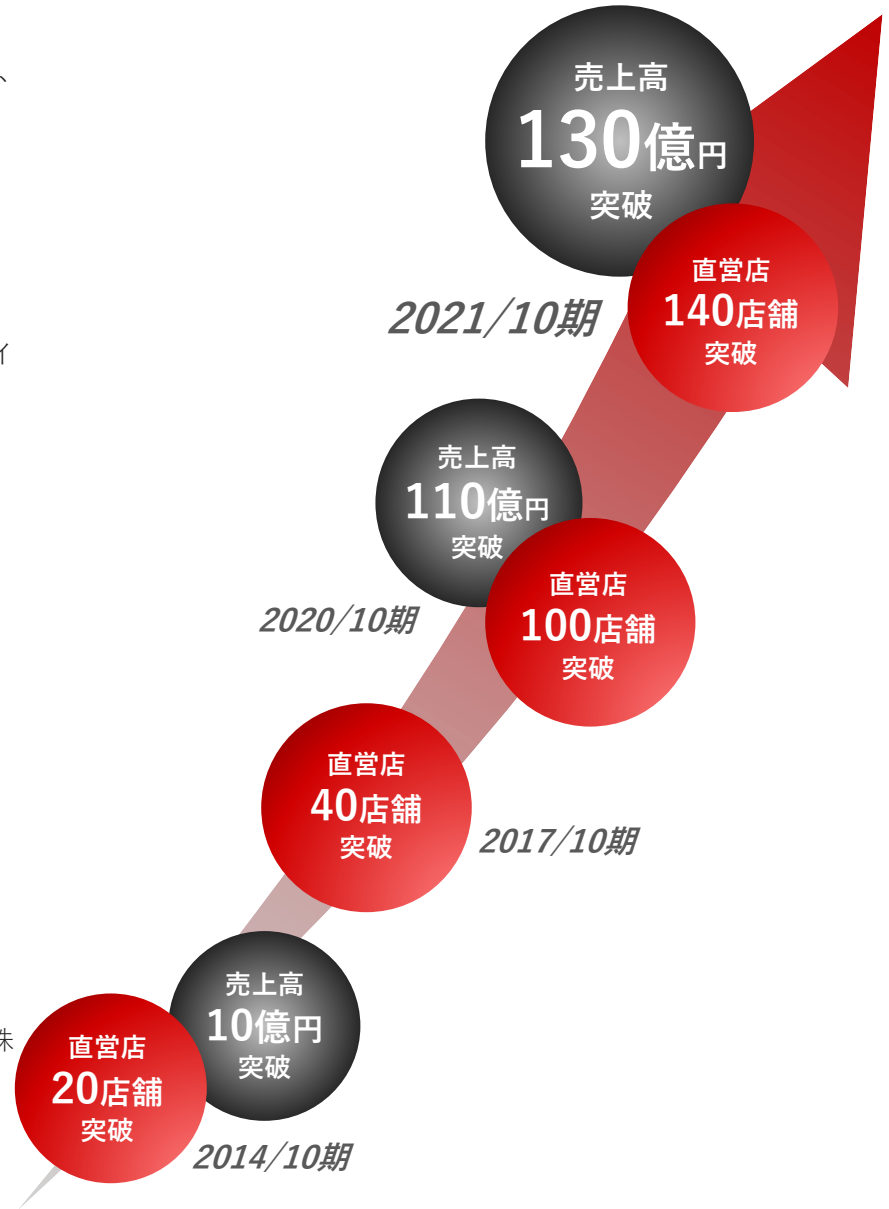
プロデュース店とフランチャイズ店の違い



	フランチャイズ店	プロデュース店
屋号	同一	フリー
加盟金	100万円～500万円	0円
ロイヤリティ	月売上の約5%	0円
店舗運営・メニュー開発の自由度	×	○
加盟店によりブランドが毀損した場合の全体波及リスク	大	小
各種サポート※	あり	あり

※各種サポート…物件開発、店舗設計、社員研修、オープンサポート

- 2008** 1月 町田商店本店を開業
- 2009** 12月 株式会社町田商店(現当社) 設立 直営店事業部門を開始
- 2010** 1月 ラーメン事業のプロデュース、PB商品販売、製麺等を目的に、株式会社ファイナル・スリー・フィート設立
プロデュース事業部門開始
- 8月 直営2号店の代々木商店を開店
- 2013** 11月 神奈川県平塚市に製麺工場を設立
- 2014** 3月 国内直営店10店舗達成
- 12月 国内直営店20店舗達成
- 2015** 3月 株式会社ファイナル・スリー・フィートが、株式会社コロワイドより株式会社四天王の全株式を取得し子会社化
- 5月 初の海外法人をシンガポールを株式会社ギフトに変更
ポールに設立
- 11月 国内直営店30店舗達成
- 2016** 3月 米国に子会社設立 (GIFT USA INC. / GIFT LOS ANGELES, LLC / GIFT NEW YORK, LLC)
- 7月 海外直営1号店 (シンガポール) オープン
- 12月 国内直営店40店舗達成、米国初出店 (LA)
- 2017** 5月 経営の効率化、経営意思決定の迅速化等を目的に株式会社ファイナル・スリー・フィートを吸収合併
- 8月 経営の効率化、経営意思決定の迅速化等を目的に株式四天王を吸収合併
- 12月 国内直営店50店舗達成
- 2018** 2月 米国にGIFT NEW YORK No.2, LLCを設立
- 5月 米国にGIFT DENVER LLCを設立
- 10月 東京証券取引所マザーズに株式を上場
- 2019** 8月 株式会社ラーメン天華及び株式会社ケイアイケイフーズ(現株式会社ギフトフードマテリアル)の全株式を取得し子会社化
- 2020** 9月 東京証券取引所市場第一部への上場市場変更
- 2021** 8月 持株会社体制へ移行
- 2022** 3月 商号を株式会社ギフトホールディングスに変更



店舗における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について



弊社店舗では、ご来店いただいたお客様に安心してご利用いただけるよう、感染症の予防に取り組んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、2021年9月より内閣官房が実施する「新型コロナウイルスモニタリング検査」に参加しております。

従業員の手洗い・
アルコール消毒の
徹底



従業員の出勤時に
体温をチェック。
問題があれば
自宅待機を指示



従業員のマスクの
着用を義務化



ビニールシー
ト・アクリル板
で仕切りを設置



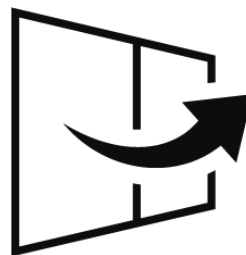
店内設備の定期的
なアルコール
消毒



一部卓上調味料・
レンゲ等の撤去



店内換気の推奨



店頭にお客様用ア
ルコール消毒液
の設置



店舗における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について



弊社店舗では、ご来店いただいたお客様に安心してご利用いただけるよう、感染症の予防に取り組んでおります。



▼隣席との間に透明なビニールシート、
アクリル板等で仕切りを設置。隣席への
飛沫拡散を気にせず、ラーメンに集中
していただけます。



将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。